

## 2022年度 産業廃棄物処理施設の維持管理状況の情報の公表

設置者名	新潟環境開発株式会社
施設名称	産業廃棄物中間処理施設
設置場所	新潟県小千谷市大字岩沢字田代4247-1
問い合わせ先	0258-86-2751

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「法」という。)の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

(産業廃棄物処理施設の維持管理等

法第十五条の二の三第二項 次の産業廃棄物処理施設の設置者は、当該産業廃棄物処理施設の維持管理に関する計画及び当該産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報であって環境省令で定めるところにより、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。

### 1 廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

設置又は変更の許可申請書、軽微な変更等の届出書、設置の届出書に記載すべき事項

別紙のとおり

### 2 廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

(公表すべき維持管理の状況に関する情報)

第十二条の七の二 法第十五条の二の三第二項の環境省令で定める事項は、次の各号に掲げる施設の種類に応じ、当該各号に定める事項とする。

環境省令の該当する号	施設の種類	公表事項
第一号	焼却施設(ガス化改質方法の焼却施設及び電気炉等を用いた焼却施設を除く)	以下のとおり

イ 処分した産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量

(単位: kg) 2022年度

産業廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
汚泥	17,176.5	15,540	24,298	22,854	27,987.9	15,176.6	8,734.7	21,905.8	15,864.7	15,448.6	16,749.8	21,443.2
廃油	11,140	19,130	11,870	6,015	19,320	8,046.5	8,850	6,180	11,435	13,200	5,760	12,890
特管廃油	23,970	30,540	15,760	19,530	22,220	25,163.5	30,990	30,310	30,805	14,140	30,010	20,561
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	10	20	350	10	0
廃プラスチック類	906,296	785,905	348,630	840,555	841,911	760,346	715,391	827,810	753,591	716,680	786,260	991,108
紙くず	1,380	650	1,320	1,760	240	210	300	2,000	250	200	250	710
木くず	105,710	89,050	45,990	129,650	105,380	154,870	135,370	102,160	94,940	75,520	73,800	100,000
繊維くず	0	2,690	900	3,990	2,800	5,640	5,670	1,750	2,840	420	0	310
動植残渣	29,720	28,550	28,300	28,920	26,370	25,360	50,870	19,050	26,800	22,420	18,390	30,750
ゴムくず	5,150	3,770	4,130	3,540	4,710	4,650	3,680	4,580	3,790	3,600	3,820	4,260
金属くず	910	90	0	310	260	560	580	330	170	0	3,070	10
ガラスくず及び陶器くず	2,020	420	910	180	2,630	3,445	1,165	1,390	1,260	320	2,470	680
感染性廃棄物	12,420	12,005	11,350	13,218	19,277	17,112.7	13,545	10,663	17,556	11,529	10,472	12,090
水銀使用製品産業廃棄物	970	530	210	200	180	475	640	1,285	785	470	100	300
水銀含有ばいじん等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ロ 測定に関する事項

現在2022年度のデータを掲載しております。

温度の測定に関する事項	測定を行った位置	測定の結果を得られた年月日	測定の結果
燃焼室中の燃焼室の温度	フローシート、A	令和4年9月15日	873 [°C]
集じん器に流入する燃焼ガスの温度	フローシート、B	令和4年9月15日	180 [°C]
煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度	フローシート、C	令和4年9月15日	5 [ppm]

ハ 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去を行った年月日

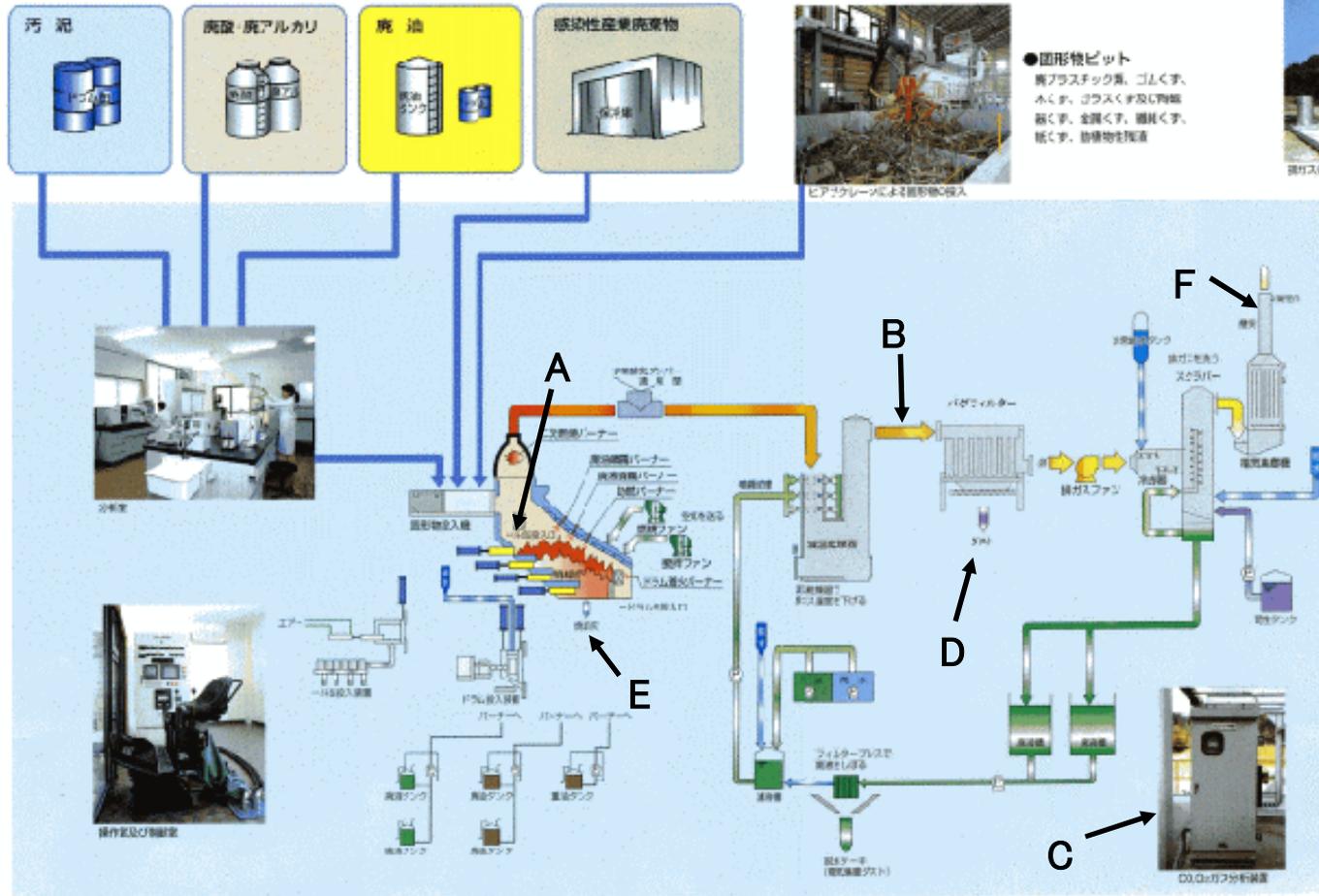
2022年度	冷却設備	排ガス処理設備
4月	1,2,4,5,6,7,8,11,12,13,14,15,16,18,19,20,21,22,23,25,26,27,28,29,30	1,2,4,5,6,7,8,11,12,13,14,15,16,18,19,20,21,22,23,25,26,27,28,29,30
5月	1,6,7,8,9,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,28,30,31	1,6,7,8,9,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,28,30,31
6月	1,2,3,4,6,7,23,24,25,26,27,28,29,30	1,2,3,4,6,7,23,24,25,26,27,28,29,30
7月	1,2,4,5,6,7,8,9,11,12,13,14,15,16,19,20,21,22,23,25,26,27,28,29,30	1,2,4,5,6,7,8,9,11,12,13,14,15,16,19,20,21,22,23,25,26,27,28,29,30
8月	1,2,3,4,5,6,8,9,10,11,12,13,16,17,18,19,20,22,23,24,25,26,27,29,30,31	1,2,3,4,5,6,8,9,10,11,12,13,16,17,18,19,20,22,23,24,25,26,27,29,30,31
9月	1,2,3,5,6,7,8,9,10,12,13,14,15,16,17,20,21,22,23,24,26,27,28,29,30	1,2,3,5,6,7,8,9,10,12,13,14,15,16,17,20,21,22,23,24,26,27,28,29,30
10月	1,2,3,4,5,6,12,13,14,15,17,18,19,20,21,22,24,25,26,27,28,29,31	1,2,3,4,5,6,12,13,14,15,17,18,19,20,21,22,24,25,26,27,28,29,31
11月	1,2,3,4,5,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,21,22,23,24,25,28,29,30	1,2,3,4,5,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,21,22,23,24,25,28,29,30
12月	1,2,3,5,6,7,8,13,14,15,16,17,18,19,22,23,24,25,26,27,29,30	1,2,3,5,6,7,8,13,14,15,16,17,18,19,22,23,24,25,26,27,29,30
1月	5,6,7,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,28,30,31	5,6,7,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,28,30,31
2月	1,2,3,4,6,7,8,9,10,11,13,14,15,16,17,18,20,21,22,23,24,27,28	1,2,3,4,6,7,8,9,10,11,13,14,15,16,17,18,20,21,22,23,24,27,28
3月	1,2,3,4,6,7,8,9,10,13,14,15,16,17,18,20,21,22,23,27,28,29,30,31	1,2,3,4,6,7,8,9,10,13,14,15,16,17,18,20,21,22,23,27,28,29,30,31

ニ 前条第五項の規定によりその例によることとされる第四条の五第一項第二号カの規定による測定(令第七条第十二号に掲げる施設にあっては、前条第五項代二号及びハの規定による測定を含む。)に関する次に掲げる事項

現在2022年度のデータを掲載しております。

排ガスの測定に関する事項	測定に係る排ガスを採取した位置	測定に係る排ガス等を採取した年月日	測定の結果の得られた年月日	測定の結果	
				測定値	単位
排ガス中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フローシート、F	令和4年9月15日	令和4年10月7日	0.16	[ng-TEQ/m <sup>3</sup> ·N]
焼却灰中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フローシート、E	令和4年9月16日	令和4年10月12日	0.00000027	[ng-TEQ/g]
ばいじん中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フローシート、D	令和4年9月15日	令和4年10月12日	0.52	[ng-TEQ/g]
ばいじん濃度(換算値)	フローシート、F	令和4年9月15日	令和4年9月26日	0.02	[g/m <sup>3</sup> ·N]
窒素酸化物濃度(換算値)	フローシート、F	令和4年9月15日	令和4年9月26日	50	[ppm]
硫黄酸化物濃度	フローシート、F	令和4年9月15日	令和4年9月26日	1.3	[ppm]
塩化水素濃度(換算値)	フローシート、F	令和4年9月15日	令和4年9月26日	3	[mg/m <sup>3</sup> ·N]

# 産業廃棄物の処理フローシート



ピニアクレーンによる固形物の搬入

●固形物ピット  
 廃プラスチック類、ゴミくず、木くず、ガラスくず及び陶磁器くず、金属くず、繊維くず、紙くず、粉砕物等処理



排気ガスの浄化及び冷却タンク類

●減温乾燥器  
 二次燃焼室で燃焼に付けた排気ガスを減温します。場内で集水された汚水も、ここで焼却処理されます。



●バグフィルター  
 ガスをろ過させることで、10μm、ダイオキシン類、塵埃等を除去します。

●スクラバー集塵装置  
 苛性ソーダ(NaOH)を含んだ水を噴霧し、排気中の塩素を除去します。

●湿式電気集塵機  
 高電圧によって排気中の微塵をマイナスイオン化して、プラスの集塵機に引きつけ1ミクロン以下の微塵を効率よく捕集します。

●CO<sub>2</sub>ガス分析装置  
 常に排気中のCO<sub>2</sub>（一酸化炭素）及びO<sub>2</sub>（酸素）濃度を監視、記録し、排ガス制御に効果を発揮します。

●分析  
 原子吸光光度計、ガスクロマトグラフィー、分光光度計、熱重量計、引込み試験器等を使用し、燃入前の廃棄物や、燃えがらの性状を分析・判定します。

●排ガス対策  
 廃棄物を焼却したときに発生する燃焼ガス中の有害物質を、バグフィルター及び湿式研砕式洗浄装置により取り除き、法規制値以下で排出します。

●臭気対策  
 臭気及び可燃ガスなどは、二次燃焼室において高温燃焼しますので、排ガス中に含まれることはありません。

●汚水対策  
 当施設は、クローズドシステムを取り入れており、回収した汚水は循環処理しますので、汚水は場外へ放出しません。

●焼却灰（もえがら）  
 焼却灰は、自社の分析室にて性状を確認した後、信頼のおける各種処理最終処分場へ搬出します。